

【全体の概要】

正答率は、県平均を大きく上回る。

○到達度別平均正答率「十分達成」は、県平均と同程度だった。

○観点別正答率は、「話す・聞く」「書く」は県平均を大きく上回った。「読む」「知識・理解」は県平均をやや上回った。

○内容・領域別正答率は、「話す・聞く」「書く」「漢字の読み」は県平均を大きく上回った。「漢字の書き」は県平均と同程度だった。

●無回答率は、県平均を下回った。

	分析の結果・本校の課題	改善に向けた具体的取り組み
話すこと・聞くこと	<p>正答率は県平均を大きく上回っている。</p> <p>○スピーチをする上で、話の構成を工夫したり、聞き手の反応を見ながら話したりするなどのポイントを捉えることができている。</p> <p>●話し合いの内容を、考えの共通点や相違点を整理しながら理解することができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチタイムで、友達の考えの大事なことを聞き取り、キーワードとしてメモさせることや、交流時に、友達の考えに対する自分の感想を相手に伝えさせるようにする。
書くこと	<p>正答率は県平均を大きく上回っている。</p> <p>○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができている。</p> <p>●目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができていない。</p> <p>●物語を読み、叙述をもとに理由を明確にして自分の考えをまとめることができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすくタイムで、長文読解のプリントに取り組みさせる。長文を読むことに慣れさせるとともに、段落ごとに何が書かれているかを理解できるようにする。
読むこと	<p>正答率は県平均をやや上回っている。</p> <p>○話し合いの中での発言の意図を、正しく捉えることができている。</p> <p>●俳句の情景を捉えることができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を味わう学習で、教科書以外の作品も紹介する。俳句をつくる活動も行う。 ・物語文の学習で、人物の言動だけでなく、場面の描写にも着目しながら読み取らせるようにする。
言語に関する知識・理解技能	<p>正答率は県平均をやや上回っている。</p> <p>○漢字の読みはできている。</p> <p>●同音異義語の使い分けができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同音異義語を使った文章を宿題等で取り上げ、書くだけでなく意味についても理解できるようにする。

【全体の概要】

正答率は県平均と同程度であった。

○教科全体の到達度では、「要努力」の児童の割合が県平均を大きく上回った。

●観点別正答率は、どの項目も県平均と同程度か、やや下回った。

○領域別の無解答率は、どの項目も県平均と同程度か、やや上回った。

○A問題に無解答はない。

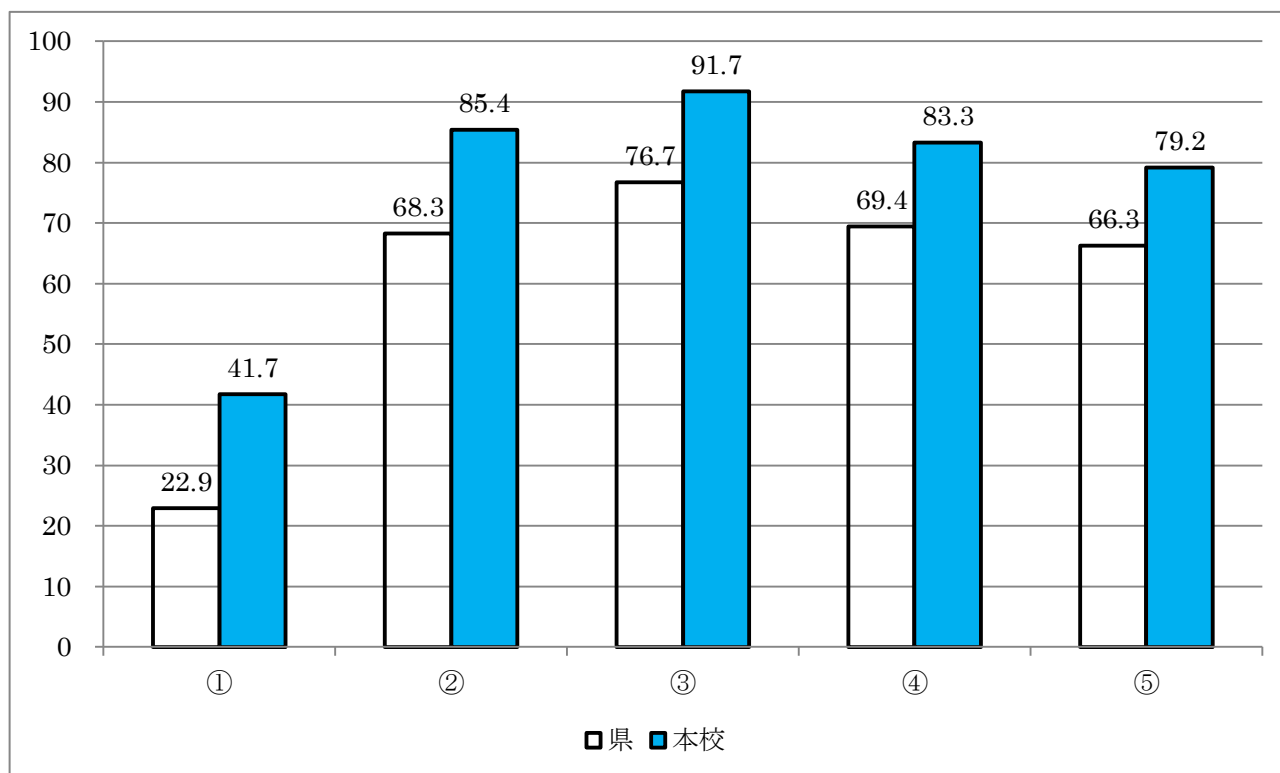
	分析の結果・本校の課題	改善に向けた具体的取り組み
数学的な考え方	<p>県平均と同程度であった。</p> <p>○計算だけで答えを見つけられる問題の正答率が高い。</p> <p>●問題文を読んで、分かっている数値などを図に表したり、問題に書き込んだりできない。</p>	<p>・方法の（立式のための）見通しと答え（解き方）の見通しを整理する。必要な場面で絵や図や言葉を使って自分の考えを表すことを全校で取り組む。それにより自分の考えを明確にし、友達と交流させることで正しい答えにたどりつけるようにする。</p>
数量や図形についての技能	<p>県平均をやや下回った。</p> <p>●単純な$+$$-$$\times$$\div$の計算ミスがある。</p> <p>●表を見て、何の数当てはまるのか読みとるのが苦手。</p>	<p>・スキルトレーニングを繰り返す。</p> <p>・個別での支援においては、問題数を少なくし、内容を厳選して取り組ませることでボトムアップを図る。</p>
数量や図形の知識理解	<p>県平均と同程度であった。</p> <p>○授業中と同じやり方で解く問題や、数字がはっきりと示してあったりすると正答率が高い。</p> <p>●分かっている数値などを図に表したり、問題に書き込んだりできない。</p> <p>●算数用語（～倍、～等分、割合、平均など）を正しく理解できていない。</p>	<p>・分かっている情報は必ず書きこませる。</p> <p>・教室に定義や性質などを掲示する。</p> <p>・算数用語については、授業において丁寧に指導をする。場面などで全員に声を出させるなどの確認を徹底する。</p>

平成29年度県学習状況調査結果分析・対策 **6年**

〔意識調査〕

【数値が特に高かった項目】

①	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 *「3時間以上 (12.5)」「2時間以上3時間より少ない (29.2)」と答えた児童の割合。
②	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 *「そう思う (45.8)」「どちらかといえば、そう思う (39.6)」と答えた児童の割合。
③	自分には、よいところがあると思う。 *「当てはまる (41.7)」「どちらかといえば、当てはまる (50.0)」
④	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。 *「当てはまる (22.9)」「どちらかといえば、当てはまる (60.4)」と答えた児童の割合。
⑤	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。*「当てはまる (25.0)」「どちらかといえば、当てはまる (54.2)」

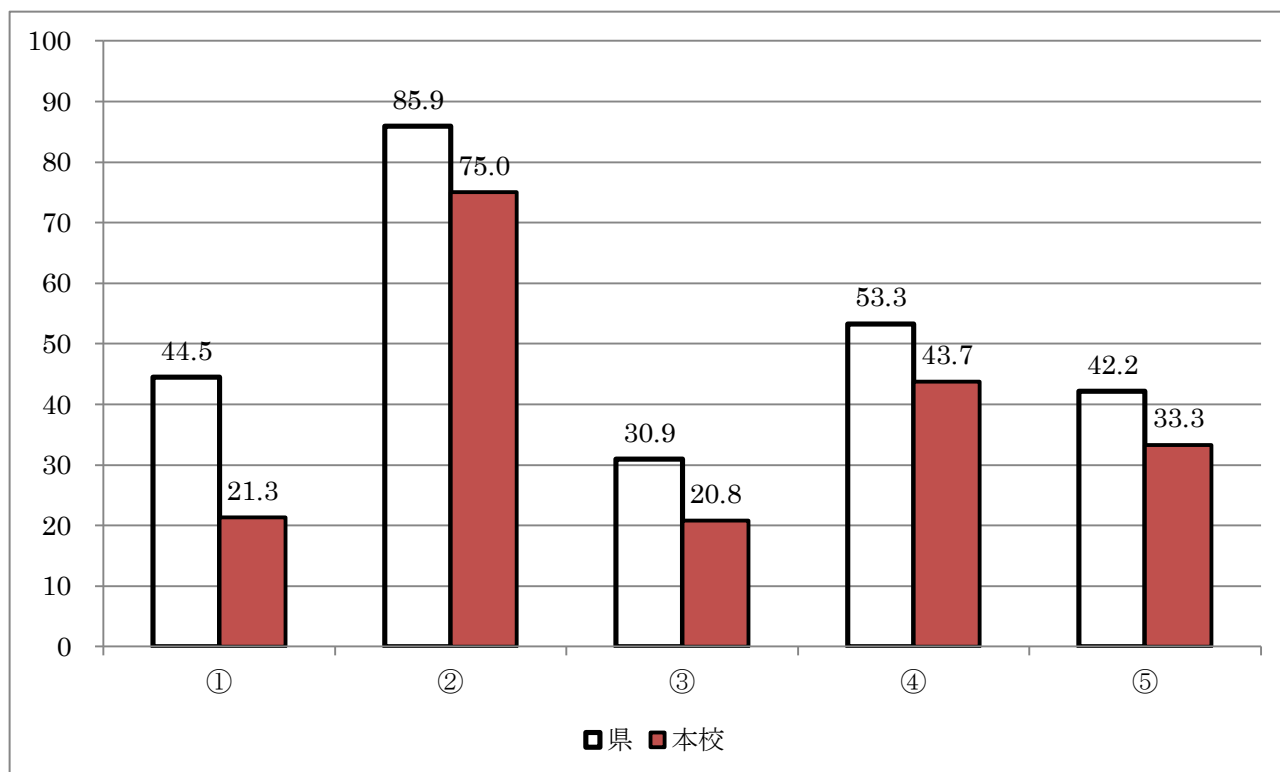


分析と今後の取り組み

- ・家庭で授業の予習・復習の取り組みができている。(①)
- ・全校を挙げて言語活動の充実に取り組んでいる。自分の考えをもって友達と意見交流をすることで、自信をもって話すことができている。自分の意見と友達の意見を比べることで、より自分の考えを深めることができている。(②④)
- ・自分の良さや友達の良さを素直に認めることができる児童が多い。(③)
- ・国語や総合的な学習の時間などで発表の機会を多く経験したことで、自分の意見が上手く伝わるような工夫の仕方に慣れてきた。(⑤)

【数値が特に低かった項目】

①	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。 *「参加したことがある (21.3)」と答えた児童の割合。
②	将来の夢や目標をもっている。 *「当てはまる (47.9)」「どちらかといえば、当てはまる (27.1)」と答えた児童の割合。
③	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う。 *「そう思う (10.4)」「どちらかといえば、そう思う (10.4)」
④	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。 *「している (20.8)」「どちらかといえば、している (22.9)」と答えた児童の割合。
⑤	地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。 *「よくある (10.4)」「時々ある (22.9)」と答えた児童の割合。



分析と今後の取り組み

- ・社会体育や習い事等で忙しいからか、ボランティア活動への参加率が低い。まずは、ボランティアの意義や大切さを学校の中で教え、参加している児童を紹介するなどして啓発していく必要があると考えられる。また、地域との関わりも少なく、大人と一緒に遊ぶ時間も少ない。学校でも、地域で行われているイベントや行事などの情報を発信していく必要がある。(①⑤)
- ・自分の将来について、具体的に考えている児童が少ない。学校行事(講演会)や総合的な学習の時間などを使って、将来の夢について考えるような授業を仕組む必要がある。(②③)
- ・学校からのお便りや講演会などを通して、学習時間やゲーム、テレビなどに関するルールを守るよう、学校だけでなく、家庭での協力も呼びかける。(④)